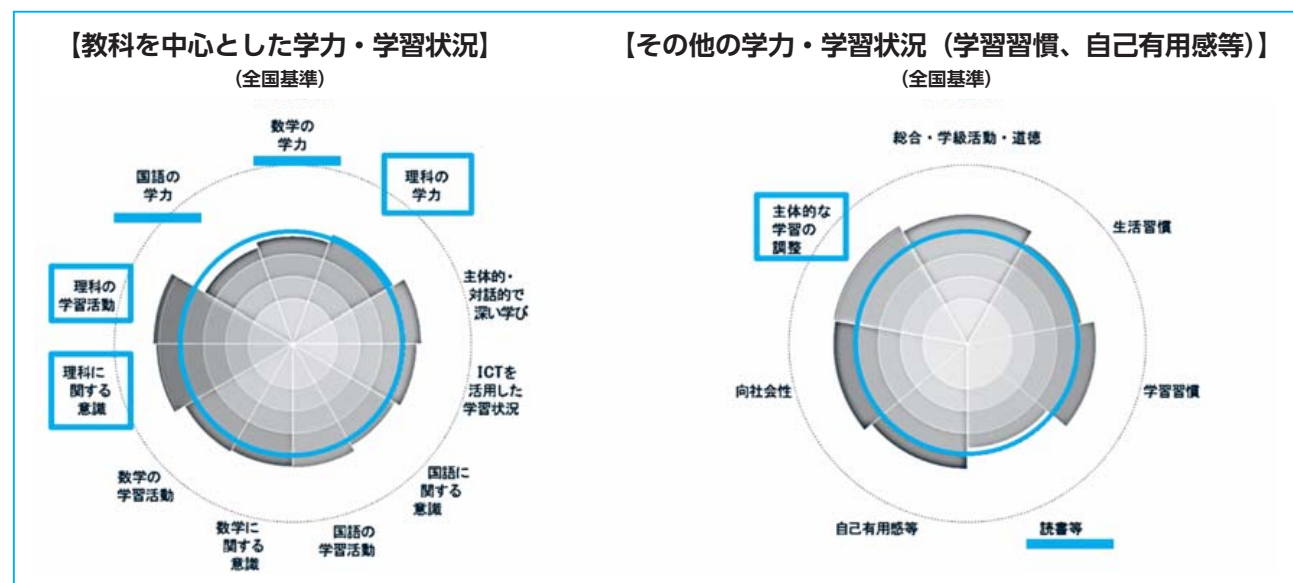


理科▶身のまわりの金属について、電気を通す物と通さない物の理解が不十分でした。定着していない部分を復習するとともに、日常生活と学習内容を結び付けて理解できるようにしていきます。

[その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感）]

「人が困っているときに進んで助けたい」「いじめはどんな理由があってもいけない」など、【向社会性】は全国平均を上回りました。反対に、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」などの【自己有用感等】は全国平均を下回りました。

(3) 中学校の調査（受験者数：国語・数学215名、理科218名）



[教科を中心とした学力・学習状況]

国語と数学の学力は全国平均を下回りましたが、理科の学力は全国平均をわずかに上回りました。「学習したことを普段の生活の中で活用している」「観察や実験を通して学びの深まりを意識している」など、【理科の学習活動】【理科に関する意識】の項目も、全国平均を上回りました。各教科の課題は下記のとおりです。

国語▶読み手の立場で、よい発表になるよう助言する問題で正答率が低い傾向が見られました。文章を書いた後に、伝えたいことが表現できているかを生徒同士で確かめるなど、推敲する活動の充実に努めます。

数学▶図形の証明問題が課題です。話し合いを通して証明の方針を立てたり、一部を空欄にして適切な言葉を補ったりするなど、生徒の抵抗感を軽減しながら、段階的に書くことができるように指導していきます。

理科▶化学変化を原子や分子のモデルで表すことに課題がみられました。目に見える実験の結果を、原子や分子のモデルを動かしながら考察し、現象を正しく解釈する力をつけていきます。

[その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感）]

読書や新聞を読む習慣を問う【読書等】は全国平均を下回りましたが、それ以外の項目は全国平均を上回りました。特に、「分りたいことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか」「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか」を問う【主体的な学習の調整】の項目で全国平均を上回っています。

4 今後の取組み

- 各学校で、学力調査の結果を分析し、課題に応じた対策を講じます。また、教員の授業力向上を目指して、各校の効果的な事例を学ぶ職員研修や、専門家を招いた研究授業を実施していきます。さらに、茨城県が提供する学習動画の活用、一人一台端末を用いた苦手分野を克服するための個別学習の実施、単元に応じてクラスを少人数に分けたり複数教員で指導したりする体制を整え、基礎・基本の定着を図ります。
- 子どもたちの自己有用感を高めるために、個性を大切に学級づくりや、児童生徒の意見を生かした行事を運営するなど、様々な取り組みを行っています。また、子どもたちとの日常の関わりを大切に信頼関係を築くとともに、子どもたちが困りごとを相談する力を身に付けるための学習や、教職員がカウンセリングの手法を学ぶ研修を行うことにより、安心して生活できる学校づくりに努めます。

令和7年度「全国学力・学習状況調査」

—茨城町の状況について— 茨城町教育委員会

1 調査の対象・目的

この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するために毎年実施されています。小学校第6学年と中学校第3学年の全児童生徒を対象にしており、令和7年度は4月14日～17日に実施されました。調査結果は、学校における児童生徒への教育指導の充実や、学習状況の改善等に役立てるために活用されます。なお、学力調査は、あくまでも学力の一側面の測定であり、学校ごとの数値については序列化など様々な影響が出ることを考慮し、茨城町では公表はしていません。

2 調査の内容

(1) 教科に関する調査【国語、算数・数学、理科】

・学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が出題されました。理科の調査は3年に一度実施されています。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する調査

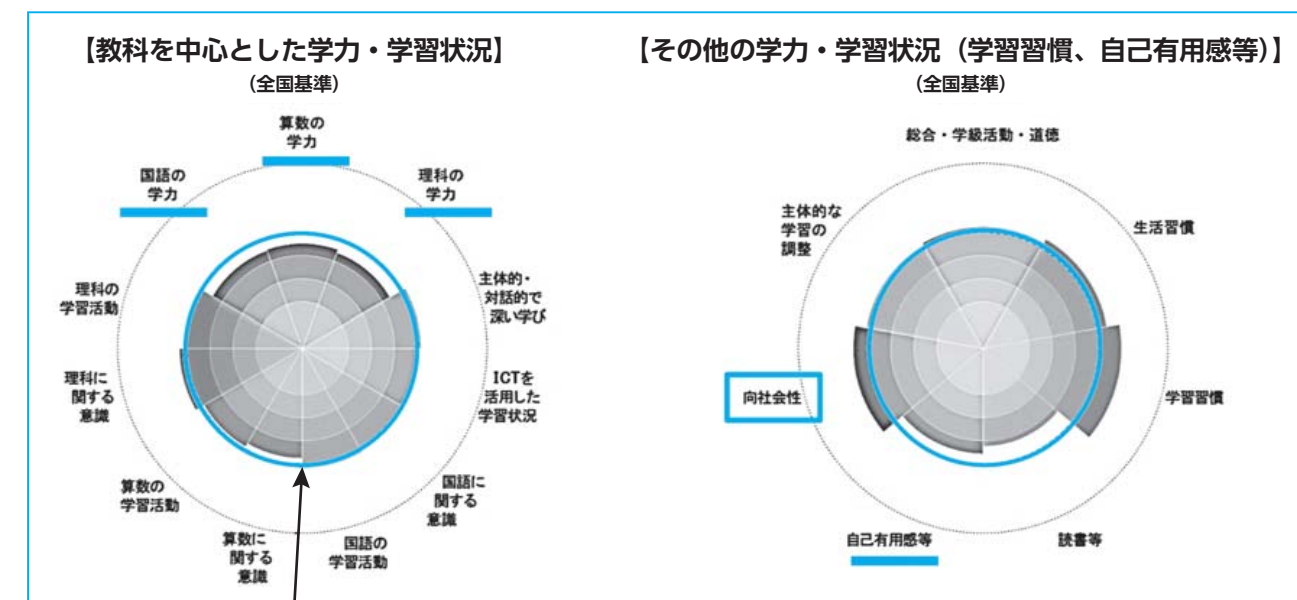
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査です。

3 調査の結果と考察

(1) 結果の見方

「教科に関する調査」及び「生活習慣や学習環境等に関する調査」の結果を、全国的な状況と比較して示しています。調査の正答率や、アンケートで肯定的な回答の割合が高いほど円が大きくなります。

(2) 小学校の調査（受験者数：213名）



※青い円は全国平均です。青い円を超えている項目は、全国平均を上回っていると判断できます。

※ → 全国と比べて特に上回っているもの → 全国と比べて特に下回っているもの(文中に記載)

[教科を中心とした学力・学習状況]

国語、算数、理科の学力は全国平均を下回りました。各教科の課題は下記のとおりです。

国語▶文章と図表などを結び付けて必要な情報を見つけることと、自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書くことに課題があります。指定された字数や条件で自分の考えを書く経験を積む必要があります。

算数▶数直線上で分数をとらえる問題に課題が見られました。小数や分数の学習では、機械的に計算するのではなく、数の表し方の仕組みに着目して考えられるように指導していきます。